

第 183 回 計測技術委員会議事録（案）

日 時 2024 年 7 月 26 日（金） 14:00～15:40

場 所 Teams によるオンライン開催

出席者 委 員 長 山田（産総研）

副委員長 布施（電中研）

委 員 井上（三菱電機）、河村（アンリツ）、古川（埼玉工大）、藤井（NICT）、松野（電通大）
松村（日大）

顧 問 大谷（日本大）、仲嶋（福山大）

幹 事 今池（日大）、作本（日大）

幹事補佐 白井

資 料

183-1 第 151 回運営委員会資料（6 月 26 日開催分）

183-2 2025 年度 計測技術委員会活動計画一次案

183-3 2025 年度 計測研究会実施計画一次案

183-4 2024 年度計測技術委員会活動状況

183-5 特集号の論文募集 2025

183-5-2 論文特集号ニュースレター用

183-6 活動資金申請書 2025

183-6-2 活動資金交付請求書 2024 年度分

議 事

1 前回議事録の確認

- ・異議なく承認された。

2 運営委員会報告（6 月 26 日開催分）

山田委員長より資料 183-1 に基づき説明があった。

- ・調査専門委員会の会員比率が緩和され、新設時は正員比率が 1/3 以上、継続時は同 1/2 以上であればよいこととなった。
- ・令和 5 年度の部門表彰において、古川委員が論文査読功労賞を受賞した。
- ・上級会員の申請が 7 月末に締切となる。評価総合点を満たす委員は申請して欲しい。
- ・研究会の会員参加費が有料化となる。仮に参加費を 4,000 円した場合、令和 5 年度の実績から換算すると約 435 万円の収入となる。
- ・令和 5 年度の活動資金に係る特別講演の謝金の処理を行った。謝金は 22,274 円で、講演者に支払済みである。
- ・令和 7 年全国大会シンポジウムの提案依頼がある。A 部門のシンポジウムの枠は 3 件で、テーマがあれば提案をお願いする。

- ・令和7年度における非会員招待講演者の研究会参加費については、令和6年度と同様に免除になる方向で検討されている。

- ・令和7年度の非会員学生の研究会参加費については、補助を行わない（案）が提案される予定。山田委員長から、受賞対象者を会員限定とする提案を行った。

3 2024年度計測技術委員会活動計画一次案及び活動状況

作本幹事より資料183-2、183-3、183-4に基づき、2024年度活動計画一次案、計測研究会実施計画一次案及び活動状況について説明があった。

(1) 活動計画

- ・計画では運営委員会を年間4回としているが、実態は5回開催されている。
- ・SICE センシングフォーラムのスケジュールは、早めでないに対応できない。また、当技術委員会の協賛の手続きについては確認するが、連携することは継続する。
- ・計測研究会は令和6年度を基に、年間5回を計画した。
- ・11月と2月の研究会は2日間開催を、また、12月と2月の研究会は合同研究会を予定する。

(2) 活動状況

- ・見学会は、現状では白紙の状況で、再度検討したい。
- ・12月の研究会は、12月12日～13日に福井での開催を予定する。学生研究発表会において招待講演も計画している。
- ・2月の研究会は、仙台又は神戸のNICTを予定する。研究会に合わせて見学会も検討したい。

4 特集論文について

山田委員長並びに布施副委員長より資料183-5、183-5-2に基づき、特集論文について説明があった。

- ・投稿締切は2025年1月末である。
- ・特集論文のゲストエディターは布施副委員長で、投稿をお願いする。

5 活動資金について

山田委員長より資料183-6に基づき、令和7年度の活動資金について説明があった。

- ・今後、特別講演はIEEE 学生研究発表会において計画するが、活動資金の申請は行っておく。

6 編修委員について

編修委員の大江氏の任期は2025年3月である。山田委員長より継続が可能か打診するが、難しい場合は新たな委員を探したい。

次回 2024年11月1日（金）14時～17時 場所 東京都内

IEEE 関係議事録

資 料

IEEE 学生発表会募集要項 2024. 11

2025 年度 学生研究発表会実施計画

議 事

- ・2024 年度学生研究発表会は、第 1 回を 11 月 7 日に、第 2 回を 12 月 20 日に予定する。11 月は佐賀大学、12 月は地方開催を計画する。
- ・2025 年度学生研究発表会は、11 月と 12 月の開催を予定する。

以 上